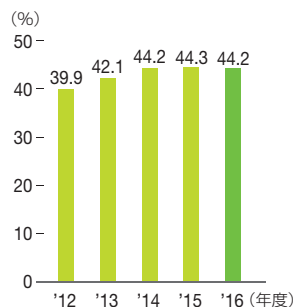


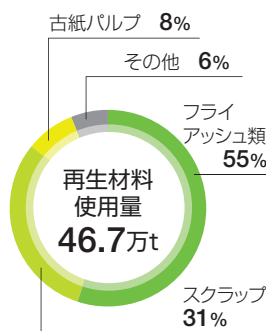
# 環境負荷を低減する資源の有効活用

ケイミーでは再生材料を活用する技術開発を推進し、グリーン調達(再生材料)の比率を高めるとともに新築現場などで発生する端材の回収・リサイクルに取り組んでいます。

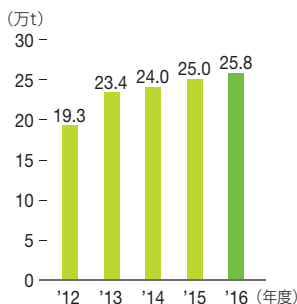
グリーン調達比率(再生材料比率)の推移



グリーン調達材料の内訳(2016年度)



フライアッシュ類使用量の推移



## グリーン調達の推進

環境に配慮した材料を優先的に選択するグリーン調達比率を高めることは環境負荷の低減につながります。ケイミーでは調達比率向上の取り組みとしてフライアッシュ類\*1やスクラップ\*2、古紙パルプなどの再生材料を積極的に活用しています。

2016年度の再生材料使用量は46.7万トンとなり前年度より約2.0%増加しました。これは生産量が前年度より増加したことと再生材料を活用する技術開発によりフライアッシュ類の使用量が0.8万トン増と前年より約3%増加したことが要因となり、再生材料中に占めるフライアッシュ類の割合も前年度より約0.7ポイント向上しました。さらに古紙パルプの使用量も約5%増加しました。この結果、グリーン調達比率は44.2%で2013年度以降40%超のレベルを達成しています。

これからも再生材料を効率的に活用し、環境に負荷を与えないグリーン調達の比率向上に取り組んでまいります。

- \*1 フライアッシュ類  
火力発電所などで石炭を燃焼させて発生した灰を電気集塵装置で回収したもの
- \*2 スクラップ  
新築現場で発生した端材や製造工程で製品とならなかったものなどを再生材料としたもの

## 端材回収リサイクルシステム

新築現場などで発生する外壁材や屋根材の端材(切断した後の切れ端)のほとんどは産業廃棄物として廃棄処分されていました。ケイミーでは新築現場などで発生した端材を回収して製造事業所で再原料化するリサイクルシステムを確立しています。

2016年度の端材回収量は前年度比で約2%増の8,000トンでした。これは販売量の増加や端材回収を希望されるお客様が前年度比で約8%増えたことによります。なお、契約先は2012年度から5年連続して増え続けています。

今後もケイミーでは、循環型社会の構築に貢献するために端材回収に取り組んでまいります。

端材回収量の推移

